

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 大成温調株式会社

上場取引所 東

コード番号 1904 URL <https://www.taisei-oncho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水谷 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 岡田 浩二 TEL 03-5742-7300

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）※オンライン開催

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,553	40.0	1,084	290.7	1,297	73.1	530	27.0
2023年3月期第2四半期	19,683	△5.3	277	—	749	—	417	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期1,383百万円（27.2％） 2023年3月期第2四半期1,087百万円（856.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	91.19	90.94
2023年3月期第2四半期	68.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	44,506	26,054	58.5	4,484.32
2023年3月期	41,175	25,256	61.3	4,309.72

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 26,043百万円 2023年3月期 25,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	82.00	82.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	126.00	126.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,100	22.9	2,400	38.5	2,600	30.1	1,200	△18.3	204.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結および個別業績予想につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,882,487株	2023年3月期	6,882,487株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,074,908株	2023年3月期	1,024,808株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,820,747株	2023年3月期2Q	6,084,559株

(注) 当社は株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には、当該株式報酬制度の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2024年3月期2Q 38,600株、2023年3月期 38,600株）を、また期中平均株式数を算定するための控除する自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式（2024年3月期2Q 38,600株、2023年3月期2Q 38,600株）を含めて計算、記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
3. 補足情報	12
個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。

建設業界におきましては、経済活動の正常化に伴い、建設需要が増加傾向にあるものの、依然として資機材や労務費等の高騰、建設従事者不足および人材の高齢化など、注視が必要な状況にあります。

こうした状況のなか、当社グループは、中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 1st half!」の3つの基本方針「基盤事業の深耕」「成長への投資」「経営基盤の整備」を推進し、『コア事業の収益性改善』と『成長のための土台作り』を進めております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比20.7%増の390億74百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比40.0%増の275億53百万円となり、営業利益は前年同四半期比290.7%増の10億84百万円、経常利益は前年同四半期比73.1%増の12億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比27.0%増の5億30百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては前年同四半期比35.7%増の199億50百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比151.2%増の7億7百万円となりました。

② 米国

売上高につきましては前年同四半期比59.5%増の70億76百万円となり、セグメント利益は4億57百万円（前年同四半期はセグメント利益24百万円）となりました。

③ 中国

売上高につきましては前年同四半期比10.9%減の4億55百万円となり、セグメント損失は1億37百万円（前年同四半期はセグメント損失38百万円）となりました。

④ オーストラリア

売上高につきましては前年同四半期比133.6%増の70百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比222.7%増の56百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は445億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億30百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が12億28百万円、のれんが18億88百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は184億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億32百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、電子記録債務が13億9百万円、未成工事受入金が8億39百万円、未払法人税等が5億15百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は260億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億98百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が4億31百万円、為替換算調整勘定が4億25百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億13百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には126億66百万円（前連結会計年度比10.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は33億13百万円(前年同四半期は3億8百万円の獲得)となりました。

これは主に、資金の増加要因となる売上債権の減少および仕入債務の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は10億32百万円(前年同四半期は58百万円の獲得)となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は12億73百万円(前年同四半期は13億63百万円の使用)となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出および配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,700,111	12,928,424
受取手形・完成工事未収入金等	13,320,590	12,166,747
電子記録債権	2,200,239	2,076,655
有価証券	143,286	49,167
未成工事支出金	193,524	319,354
商品	23,789	231,894
原材料	269,443	304,817
その他	795,157	1,712,507
貸倒引当金	△59,053	△102,629
流動資産合計	28,587,090	29,686,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,996,569	4,202,597
機械装置及び運搬具	1,630,667	1,779,046
土地	4,240,204	4,484,476
建設仮勘定	115,696	143,488
その他	445,484	452,636
減価償却累計額	△3,904,992	△4,141,972
有形固定資産合計	6,523,630	6,920,271
無形固定資産		
のれん	—	1,888,206
その他	276,341	243,950
無形固定資産合計	276,341	2,132,157
投資その他の資産		
投資有価証券	4,134,324	4,232,725
長期貸付金	5,908	8,965
退職給付に係る資産	69,816	84,916
繰延税金資産	532,603	323,484
その他	1,253,888	1,326,450
貸倒引当金	△207,688	△209,837
投資その他の資産合計	5,788,852	5,766,705
固定資産合計	12,588,824	14,819,134
資産合計	41,175,915	44,506,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,682,160	5,599,500
電子記録債務	3,760,964	5,070,133
短期借入金	—	180,000
未払法人税等	44,749	559,966
未成工事受入金	3,339,379	4,178,520
賞与引当金	389,437	320,326
完成工事補償引当金	37,923	27,093
工事損失引当金	128,857	80,615
その他	2,358,870	2,292,340
流動負債合計	15,742,344	18,308,496
固定負債		
その他	177,361	143,282
固定負債合計	177,361	143,282
負債合計	15,919,706	18,451,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,132,677	5,132,677
利益剰余金	15,086,821	15,134,134
自己株式	△1,503,704	△1,605,276
株主資本合計	23,910,851	23,856,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500,308	931,349
為替換算調整勘定	840,801	1,265,831
退職給付に係る調整累計額	△7,020	△10,748
その他の包括利益累計額合計	1,334,088	2,186,431
新株予約権	11,268	11,268
純資産合計	25,256,208	26,054,292
負債純資産合計	41,175,915	44,506,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
完成工事高	19,225,426	26,211,709
その他の事業売上高	458,206	1,341,783
売上高合計	19,683,633	27,553,492
売上原価		
完成工事原価	16,659,105	22,646,146
その他の事業売上原価	341,313	1,145,548
売上原価合計	17,000,419	23,791,695
売上総利益		
完成工事総利益	2,566,321	3,565,562
その他の事業総利益	116,893	196,234
売上総利益合計	2,683,214	3,761,797
販売費及び一般管理費	2,405,740	2,677,789
営業利益	277,474	1,084,007
営業外収益		
受取利息及び配当金	44,241	69,490
為替差益	346,878	175,176
受取保険金	83,690	19,605
その他	19,677	19,075
営業外収益合計	494,488	283,347
営業外費用		
支払利息	2,178	2,328
工事補修費	13,501	62,659
その他	6,747	5,081
営業外費用合計	22,427	70,069
経常利益	749,535	1,297,286
特別利益		
固定資産売却益	41,982	—
投資有価証券売却益	—	124,741
特別利益合計	41,982	124,741
特別損失		
投資有価証券評価損	9,999	425,223
関係会社株式評価損	11,274	—
関係会社整理損	31,646	—
損害賠償金	33,182	—
特別損失合計	86,102	425,223
税金等調整前四半期純利益	705,414	996,803
法人税等	287,551	465,995
四半期純利益	417,863	530,808
親会社株主に帰属する四半期純利益	417,863	530,808

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	417,863	530,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,286	431,040
為替換算調整勘定	626,142	379,909
退職給付に係る調整額	1,909	△3,728
持分法適用会社に対する持分相当額	107,789	45,120
その他の包括利益合計	669,555	852,342
四半期包括利益	1,087,418	1,383,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,087,418	1,383,151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	705,414	996,803
減価償却費	176,564	169,114
のれん償却額	—	37,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,466	40,656
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,375	△82,388
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7,466	△18,828
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	11,440	△11,099
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	71,260	△52,877
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△78,908	△20,535
受取利息及び受取配当金	△44,241	△69,490
受取保険金	△83,690	△19,605
支払利息	2,178	2,328
為替差損益 (△は益)	△462,039	△236,308
持分法による投資損益 (△は益)	459	△3,287
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,999	425,223
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△124,741
関係会社株式評価損	11,274	—
固定資産売却損益 (△は益)	△41,982	—
損害賠償損失	33,182	—
関係会社整理損	31,646	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,297,207	2,145,896
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	△214,571	△298,675
立替金の増減額 (△は増加)	434,142	△172,301
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△40,932	△666,577
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,467,053	913,884
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△364,934	516,116
未払金の増減額 (△は減少)	△19,983	△111,842
預り金の増減額 (△は減少)	356,186	493,508
未払消費税等の増減額 (△は減少)	137,359	△448,497
その他	△106,361	△61,823
小計	371,061	3,341,676
利息及び配当金の受取額	44,241	69,490
保険金の受取額	83,690	19,605
利息の支払額	△2,178	△2,328
損害賠償金の支払額	△33,182	—
法人税等の支払額	△155,433	△115,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,198	3,313,106

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△269,816	△266,086
定期預金の払戻による収入	300,438	250,184
有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△14,107	△82,485
有形固定資産の売却による収入	69,935	15,020
投資有価証券の取得による支出	△8,368	△5,808
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	315,077
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△1,199,997
その他	△19,981	△158,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,100	△1,032,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,100,000
短期借入金の返済による支出	—	△2,777,041
リース債務の返済による支出	△13,295	△12,033
自己株式の取得による支出	△869,488	△101,571
配当金の支払額	△480,999	△482,630
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,363,783	△1,273,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	476,194	205,930
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△521,289	1,213,099
現金及び現金同等物の期首残高	12,066,710	11,453,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,545,420	12,666,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	日本	米国	中国	オーストラリア				
売上高								
一時点で移転される財	3,394,975	—	—	—	—	3,394,975	—	3,394,975
一定の期間にわたり移転される財	11,269,569	4,436,058	511,060	—	—	16,216,688	—	16,216,688
顧客との契約から生じる収益	14,664,545	4,436,058	511,060	—	—	19,611,664	—	19,611,664
その他の収益	41,777	—	—	30,191	—	71,968	—	71,968
外部顧客への売上高	14,706,322	4,436,058	511,060	30,191	—	19,683,633	—	19,683,633
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,706,322	4,436,058	511,060	30,191	—	19,683,633	—	19,683,633
セグメント利益又は損失(△)	281,532	24,770	△38,014	17,375	△8,869	276,794	679	277,474

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	日本	米国	中国	オーストラリア			
売上高							
一時点で移転される財	4,379,329	—	—	—	4,379,329	—	4,379,329
一定の期間にわたり移転される財	15,528,305	7,076,955	455,466	—	23,060,727	—	23,060,727
顧客との契約から生じる収益	19,907,635	7,076,955	455,466	—	27,440,056	—	27,440,056
その他の収益	42,919	—	—	70,515	113,435	—	113,435
外部顧客への売上高	19,950,555	7,076,955	455,466	70,515	27,553,492	—	27,553,492
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,950,555	7,076,955	455,466	70,515	27,553,492	—	27,553,492
セグメント利益又は損失(△)	707,334	457,612	△137,340	56,068	1,083,674	333	1,084,007

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

(単位：千円)

	報告セグメント					計	全社	合計
	日本	米国	中国	オーストラリア				
(のれん)								
当第2四半期連結 累計期間償却額	37,023	—	—	—	37,023	—	—	37,023
当第2四半期連結 会計期末残高	1,888,206	—	—	—	1,888,206	—	—	1,888,206

(注) 第1四半期連結会計期間において、ホライズン5株式会社の発行済株式の全てを取得し、同社およびその子会社であるウッドテック株式会社を連結の範囲に含めたことにより、日本セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況)

期別	区分	前期繰越工事高 (千円)	当期受注工事高 (千円)	計 (千円)	当期完成工事高 (千円)	次期繰越工事高 (千円)
前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	新築工事	20,542,701	13,872,407	34,415,108	6,777,801	27,637,307
	改修・保守修理等	6,525,090	10,626,312	17,151,402	7,528,924	9,622,477
	計	27,067,791	24,498,719	51,566,511	14,306,726	37,259,785
当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	新築工事	29,612,567	12,021,989	41,634,557	8,132,096	33,502,461
	改修・保守修理等	7,602,319	14,527,605	22,129,925	10,616,001	11,513,924
	計	37,214,887	26,549,595	63,764,483	18,748,098	45,016,385
前事業年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	新築工事	20,542,701	24,707,879	45,250,580	15,638,013	29,612,567
	改修・保守修理等	6,525,090	18,374,800	24,899,890	17,297,570	7,602,319
	計	27,067,791	43,082,679	70,150,471	32,935,583	37,214,887

(注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、当期受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、当期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。

2. 次期繰越工事高は(前期繰越工事高+当期受注工事高-当期完成工事高)に一致しております。